

平成30年産 農作物共済実績表

◆平成30年産水稻

出穂期の高温や収穫期の台風による影響が一部見られたものの、概ね順調に推移し、登熟・作況指数ともに「平年並み」となった。被害については、山間地を中心に、イノシシやシカ等による食害・踏み倒しの被害が発生した。また、山梨県のほぼ全域で、台風の影響による風水害が発生した。7月下旬から8月中旬の降雨等により常発地を中心にいもち病による被害が見られた。(通常災害)。

◆平成30年産麦

経営所得安定対策により麦・大豆等への戦略作物への作付け転換が進んでからは、北杜市を中心として高い引受率を維持している。被害については、北杜市の高冷地を中心に1月下旬の融雪水及び3月上旬の多雨により、土壌が湿潤状態となり、麦体が消耗し生育不良となった。また、一部地域では、電気柵等の対策を生じたものの、シカによる茎葉の食害が発生し減収となった。一部地域では、11月上旬から12月下旬にかけて降水量が極めて少なく、発芽不能が起こり減収となった(異常災害)。

水稻

	引 受				被 害					被 害 率			
	戸数 (延戸)	面積 (a)	収量 (kg)	共済金額 (円)	戸数 (戸)	面積 (a)	共済減収量 (kg)	支払共済金 (円)	支払保険金 (円)	戸数 (%)	面積 (%)	収量 (%)	金額 (%)
中央	811	23,203	855,053	196,624,355	13	110.7	982	225,860	/	1.6	0.5	0.1	0.1
南アルプス	4,112	97,058	3,496,771	793,944,752	37	443.8	2,739	629,970		0.9	0.5	0.1	0.1
北部	6,035	267,408	10,103,224	2,322,322,070	53	823.0	9,125	2,098,750		0.9	0.3	0.1	0.1
富士	1,876	35,561	1,290,871	293,557,844	35	280.8	5,239	1,204,970		1.9	0.8	0.4	0.4
合計	(実12,750) 12,834	423,230	15,745,919	3,606,449,021	138	1,658.3	18,085	4,159,550	0	1.1	0.4	0.1	0.1
平成29年産	(実13,355) 13,460	433,619	16,179,388	3,638,318,589	249	3,580.8	39,748	8,971,144	0	1.8	0.8	0.2	0.2
前年対比	95.3	97.6	97.3	99.1	55.4	46.3	45.5	46.4	—				

麦

	引 受				被 害					被 害 率			
	戸数 (実戸)	面積 (a)	収量 (kg)	共済金額 (円)	戸数 (実戸)	面積 (a)	共済減収量 (kg)	支払共済金 (円)	支払保険金 (円)	戸数 (%)	面積 (%)	収量 (%)	金額 (%)
南アルプス	5	602	10,034	154,090	1	12.3	191	3,247	/	20.0	2.0	1.9	2.1
北部	40	9,566	172,833	12,283,548	7	509.3	4,533	569,624		17.5	5.3	2.6	4.6
合計	(延50) 45	10,168	182,867	12,437,638	8	521.6	4,724	572,871	149,992	17.8	5.1	2.6	4.6
平成29年産	(延53) 49	9,132	170,276	10,617,297	7	992.8	7,623	785,470	456,334	14.3	10.9	4.5	7.4
前年対比	91.8	111.3	107.4	117.1	114.3	52.5	62.0	72.9	—				